

青木 大也
法学研究科・准教授

【研究】

今年度は、新たに代表者として採択された意匠のデジタルデータ化をめぐる科研費(基盤C)と、分担者を務める2件の科研費(基盤A、基盤B)に関するものを中心に研究を進めた。

その結果、論文3点、解説1点、書評1点を公表し、9件の口頭発表・講演(うち2件はフランスにおけるもの)を行った。加えて、有斐閣ONLINEでの連載/ファッション・ローと知的財産にも継続的に参加している。

また、ELSIセンターを中心とした、学外企業との産学連携による外部資金研究事業(成長型中小企業等研究開発支援事業)に参画した。

【教育】

今年度は、全学共通教育科目1コマ(法学の考え方)、法学部の科目1コマ(知的財産法2)を担当し、演習1・2を法学研究科の北元准教授との共同で担当した。また大学院法学研究科の科目を2コマ担当した。

また、大学院生について、M2を3名、M1を4名担当し、研究生1名を受け入れた。

【管理運営】

部局内にて、法学研究科教務委員会、評価室、広報室に参画した。

また知的基盤総合センター、ELSIセンターの教員を各々兼任した。知的基盤総合センターでは、研究企画、FDや智適塾関係を担当した。

【社会貢献】

・産業構造審議会知的財産分科会弁理士制度小委員会、意匠制度小委員会、同意匠審査基準WGの委員を務め、また工業所有権審議会弁理士審査分科会試験委員を務めた。

・日本弁理士会中央知的財産研究所の研究員を務めた。

・特許庁での研修講師を3件務めた。

・一般財団法人日本特許情報機構、舞鶴市の依頼で講演を行った。

・大阪市内の高等学校向け出張授業を2件務めた。